



あやま

過ちて改めざる、これを過ちという

この言葉は今から約2,500年前に中国で生まれた孔子（こうし）という人の言葉です。孔子は人としての生き方について深く考え、人としての礼儀や態度、思いやりの心などをとても大切にしました。そして、政治家に対しても、政治をする人自身が礼儀や態度、思いやりのある心遣いなどを大切にして、道徳を重んじた政治を行うべきだと考え、中国の各地を回って、それぞれの地域で政治を行う人たちにその考えを広めようとしました。しかし、その願いは、なかなか実現してもらうことができませんでした。思いを果たせなかった孔子は、自分が生まれた魯（ろ）という国に戻り、たくさんの弟子たちを教え育てることに専念するようになりました。

ある日、孔子は弟子たちに、「人はいろいろ失敗してしまうものだ。それは仕方のないことである。だから、そのような失敗を二度としないように改めていくことが、人としてとても大切な生き方なのである。しかし、失敗したにもかかわらずそれを反省しようとせず、直そうともしなければ、そのような考え方や態度こそが、人としての生き方の大きな過ちなのである」と教えたのです。そのとき

の言葉が、この「過ちて改めざる、これを過ちという」という言葉だったのです。

ところで、皆さんも、ついいうっかり間違えたり、失敗したりすることがあると思います。そのようなとき、すぐに「ごめんなさい」「すみませんでした」と謝りますね。そして、二度とそのようなことをしないように、気を付けると思います。そのような生き方が、とても大切なことなのです。その反対に、言い逃れをしたりごまかしたりすることは、よくないことなのです。ついいうっかり間違えたり失敗したりしたときには、恥ずかしいという気持ちや叱られるのではないかとという気持ちなどが起きるかもしれません。しかし、

自分の過ちを認めて謝るとともに、二度とそのようなことをしないように努力することが大切です。

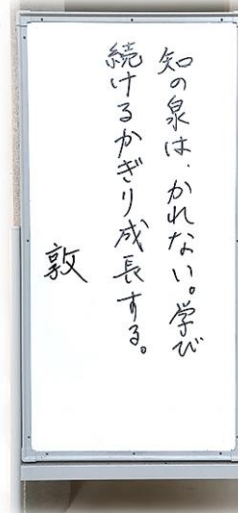
頸城中の子どもたちも、失敗するときや間違ってしまうことがあります。そのときは、「私は失敗してしまいました（間違いました）」と、自ら手を上げられる人に育ってほしいと思います。そうすれば同じ失敗（間違い）を二度となくなるのではないのでしょうか。それが子どもたちの成長につながるはずです。

この言葉のように、孔子は人としての生き方にかかわる素晴らしい教えをたくさん残しました。孔子が亡くなった後、多くの弟子たちは孔子が教えてくれた言葉を、『論語』という書物にまとめました。今回、紹介した言葉も、その『論語』の中にある言葉の一つです。ぜひ、皆さんにも、この『論語』を一度読んでみてほしいと思っています。



孔 子

春秋戦国時代の中国の思想家で儒教の始祖。教え広めたことが『論語』にまとめられました。



12/3 校長メッセージより

命・きずなを考える講座

頭城中では、毎年3年生を対象に助産師さんをお招きして「命・きずなを考える講座」を開催しています。講座では男女別に助産師さんの体験に基づく講話をお聞きし、命の大切さについて考え、自分も仲間も大切にする気持ちを高める契機とします。また、思春期の心と身体の特徴や性に関する講話をお聞きし、心身の変化に関する悩みや不安を少しでも解消し、今後の男女の適切なかかわり方を考える機会としています。

11月27日（金）の講座では、実際と同じ重さの新生児人形を抱いたり、妊婦体験装具を着用したりして、妊婦や育児の大変さを体感しました。妊婦体験をした男子生徒は（男性教員も）あまりの重さに驚いていました。「体験に勝るものなし」です。



今自分が生きているのは奇跡であり、両親のおかげでちゃんと成長できたということを再認識できました。これからは自分が生きていることに感謝して生きていきたいです。後半の性については、自分自身への理解を深めていきたいです。異性に対しても、デリカシーがないような会話はしないようにしていきたいです。（3年男子）

赤ちゃんの人形を抱いたときに、親になる人の気持ちってこんな感じなのかなと思いました。また、子どもを産むときの大変さを聞いて、お母さんは苦勞して私を産んだんだと実感しました。今日知ったことは、お産の時に辛い思いをするのはお母さんだけでなく産まれてくる赤ちゃんもだということで、母子共に命がけなんだなと思いました。（3年女子）

【続】 校舎を彩る美術作品 ～3年生「一点透視図法」の学習～

前号でお伝えした生徒制作の美術作品展示がリニューアルされました。一点透視図法の学習で3年生がデザインした作品「マイ・ルーム」の展示です。さすが3年生。クオリティーの高い作品が多く、感心します。2年生のスタンドグラスも展示中です。来校された際には、是非生徒の作品にご注目ください。

3年生「マイ・ルーム」

2年生の3学期に下絵を描き、3年生になってから着彩して作品を完成しました。

「一点透視図」の基本的な知識・技能を習得し、その技法を活用して描きました。各自の個性（表現・感性）と共に、色の塗り方の工夫にも注目してご鑑賞ください。



玄関プランターの花植え ～地域の皆さんと共に～



11月20日（金）、来春に向けた玄関プランターの花植え活動が、生徒会環境委員会の企画により行われました。

植えた花は、パンジー、ビオラ、チューリップ。冬を超え、来春の頸城中生徒玄関を彩る花たちです。今回も地域の皆さんからご来校いただき、上手な花苗の植え方をアドバイスして頂きながら、全38個のプランターに丁寧に植えました。



地域の皆さんと協働した花植え活動は、全校あやめ植栽活動を含めて今年度4回目となりました。今後さらに地域の皆さんとの交流を深め、学校の環境整備や地域に貢献できる活動に力を入れていきます。



令和3年度生徒会正副会長が決定

11月後半から始まった、来年度の生徒会正副会長を決める選挙活動。12月9日（水）の午後に開催された立会演説会を経て、即日投開票が行われました。

今年は、生徒会長候補に2名、男子副会長に3名、女子副会長に2名の立候補があり、総勢7名での選挙活動となりました。学年・学級から大勢の仲間が選挙運動に参加し、選挙活動は大いに盛り上がりました。

立会演説会やその後の質疑応答では、「地域とのかかわりを深めたい」「適度な距離を保つなどコロナ感染対策をとりながら、学年を超えた親睦活動を実施したい」等の意見が聞かれました。身近な課題にしっかり向き合っていることに頼もしさを感じました。選挙の結果、上記の3人が選出され、来年度の正副会長となりました。来年度、新しい頸城中を創造する原動力となり、大いに活躍してほしいと願っています。



生徒会長	桑原 尚矢 さん（2-2）
男子副会長	柳沢 真大 さん（2-1）
女子副会長	竹谷 美華 さん（2-3）

県教育広報誌『かけはし』49号が配信されました

教育広報誌『かけはし』の49号が、12月1日に県教育委員会ホームページから電子配信されました。今号では、「いじめ見逃しゼロ県民運動」「県少年自然の家の利用」「小学校での佐渡金銀山学習の取組」「令和3年度インターハイを北信越ブロックで開催」等について掲載されています。県教育委員会ホームページから簡単にPDFデータを閲覧できます。是非閲覧をお願いいたします。

県教育委員会ホームページ「かけはし」掲載ページ

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/kyoiku/1191169877149.html>

QRコードでスマホから→



頸城中生徒の活躍 ～これからも応援をお願いします～

◆科学部

県科学研究審査会「いきいきわくわく科学賞2020」

中学校生物・地学の部 「自然界の円に関する研究」 **優秀賞** 佐藤 陽斗 さん（2年）

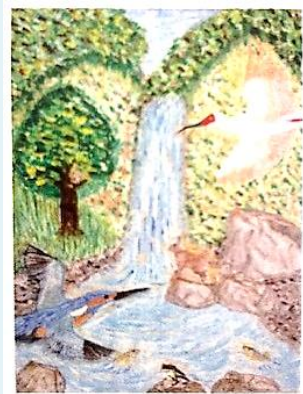
◆ソフトテニス部 上越地区中学校新人ソフトテニス大会（団体戦） **準優勝** **県大会へ**

◆国土緑化運動・育樹運動ポスターコンクール **奨励賞** 関川 敦也 さん（2年）

◆中学生の「税に関する標語」

新潟県間税会連合会長賞 吉田 京祐 さん（2年）

新潟県間税会連合会長賞 笠原 みれい さん（1年）



◆各種検定合格者

英語検定 3級5名（3年3名、2年2名）、

4級5名（2年）、5級3名（2年1名、1年2名）

漢字検定 準2級1名（3年）、3級3名（3年）、4級4名（2年）

頸城中よさこい部の動画配信スタート ～新潟県文化祭2020～

先月の学校だよりでお伝えした頸城中よさこい部の動画が、ユーチューブの「新潟ステージチャンネル」にて11月29日から配信開始となりました。

インターネットで「新潟県文化祭 頸城中」で検索できます。または、右のQRコードをスマホ等のカメラで読み取ると

動画を直接視聴できます。（動画URL：<https://www.youtube.com/watch?v=BnM1hcvikuE>）



動画 QR コード



今年はコロナ禍で子どもたちに辛い思いをさせてしまいました。しかし、保護者・地域の皆さんからのご理解とご支援のもと、生徒の工夫やアイデアを生かした活動が多く展開され、確実に成長できた年となりました。本当にありがとうございました。来年も、頸城中は挑戦し前進していきます。「前へ」です。



今年1年ありがとうございました